

平成26年度

まちづくり活動助成団体紹介

まちづくり基金によるまちづくり活動助成を受けた団体を紹介します。平成26年度の「地域“魅力”アップ部門」から3団体、「はじめの一步」部門」から1団体をご紹介します。

地域“魅力”アップ部門

片平学区連絡協議会

平成23年度に「はじめの一步」部門で助成を受けた片平学区内の老人クラブ「新千鳥会」の花いっぱい運動が発展し、環境省が支援する環境課題に取り組む地域コミュニティの1つに選定され、また名古屋市「都市美化功労表彰」の対象となったことで、学区全体の環境意識を高めるまちづくり活動へと広がっています。

今回のまちづくり活動助成では、花と緑をベースとした「環境」を切り口として、持続可能な社会の担い手づくりの取り組みを展開していきます。内容は、環境学習会を開催し、「はじめませんか?花育」の講義と共に環境メッセージを学区全世帯に発信しました。

また、旧東海道沿いや地域内の空きマスに竹を活用した花壇づくりや花植えを行いました。そして、老人クラブ、ボランティア会、子供会との協働で、畑を整地し、種まきから収穫までを行い、地域で芋煮会を開催する素材園の整備を行いました。これらの活動が「みんなでわいわいがやがや!」と会話のできる地域コミュニティをつくり、みんなで住みよい街を創ることを目指しています。



ヒマワリの種まきの様子



環境学習会の様子

お問合せ先 | 杉野 友昭 e-mail t_0313su@yahoo.co.jp

地域“魅力”アップ部門

特定非営利活動法人多文化共生リソースセンター東海

多文化共生リソースセンター東海は、2008年に次世代の多文化共生社会づくりに向けて設立された、東海地域唯一の多文化共生分野の中間支援団体です。

活動範囲である名古屋市には7万人近くの外国人が暮らしており、とりわけ名古屋市中区の外国人比率は区単位では、東京都新宿区に次いで全国2番目に高い割合です。近年、名古屋市の行ったアンケートによると、日本人と外国人との間での文化や習慣、宗教の違いの認識や理解をしていないことがトラブル発生の要因のひとつとなっており、相互理解の促進が重要な課題となっています。

今回、まちづくり活動助成を受けて、県内初の試みである多文化共生をテーマにした交流型の映画祭「あいち多文化映画祭2014」を実施しました。映画祭の実行委員を市民公募により採用し、行政、NPO、企業など地域の関係団体と協働で映画祭を実現することで、多文化共生の担い手の育成を図るとともに地域連携を高めました。また、上映内容はテーマ別にして映画を鑑賞するだけでなく、上映後は日本人と外国人が交流できるワークショップを行い、愛知や名古屋における多文化共生への理解を深めました。



イベント開催の様子



映画祭後のワークショップの様子

お問合せ先 | 多文化共生リソースセンター東海
Tel 052-228-8235 e-mail mrc-t@nifty.com

地域“魅力”アップ部門

陶生町自主防災会

防災まちづくりで名古屋一番のモデル町内会をめざし、昨春、100世帯に満たない町内で、およそ40人の有志で情報班、消火班、救出救護班、避難誘導班、給食給水班を組織して自主防災会を立ち上げ、昨年度は実際の災害を想定し様々な工夫を凝らした訓練を実施しました。

今回のまちづくり活動助成では、防災・減災活動を地域全体でさらに進めるために、各種の顔の見える信頼関係づくり、「地域支え合いマップ」づくりを始めとした助け合いの仕組みづくりなど、温かいコミュニティづくりを目指しています。

夜間訓練では、「黄色い蛍光具付きリボンと笛」を用いた全世帯安否確認、アマチュア無線基地局を設営した災害本部と無線担当者との状況交信、災害時要援護者への避難支援、防災クロスロードゲームを実施しました。また、防災対策名簿や、その管理運用規定をより実態に即した改定を行い、個別支援計画の策定、災害時要援護者への援助や対応策の準備などを実施します。



夜間安否訓練の様子



クロスロードゲームを行う様子

お問合せ先 | 高橋 芳彦 e-mail taka-y@quartz.ocn.ne.jp

“はじめの一步”部門

和みの散歩道の会

平成25年に都市計画道路である池内猪高線が開通しました。同時に、その高架下に住民の意見を取り入れた「和みの散歩道」が整備されました。この高架下の空間がまちの負の遺産となってしまうことなく、まちに誇りと愛着をもたらす資源となるように発展させるための活動を行っているのが、和みの散歩道の会です。

今回、まちづくり活動助成を受けて、地域住民や近隣の学校の学生、一般参加者、会員等が交流を図るためのイベントを実施しました。高架道路の構造物、コンクリート擁壁を背景などに積極的に生かし、各種アート作品の展示や屋外コンサートなどを行うことで、威圧感のある構造物の印象を和らげ、魅力的な散歩道となるような取り組みを行いました。展示については、市内の大学と連携し、創造的発信活動の場となるようにしました。PRチラシやポスターなどによって地域以外の人にも知ってもらい、さらに多くの人々に親しみのある散歩道として利用していただけるように努めるとともに、将来的には「文化・芸術の交流」の場として定着するよう活動を継続していきたいと思っています。



展示作品を鑑賞されている様子



屋外コンサートの様子

お問合せ先 | 吉田 誠 e-mail collon@sc.starcat.ne.jp